

1年国語科シラバス

1. 西中学校1年生国語科目標

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成する。思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2. 年間学習予定(あくまで予定ですので、変更の可能性があります。)

学習内容等	
1学期	4月 1 学びをひらく・シンシュン・漢字① 5月 2 新しい視点で・ダイコンは大きな根?・ちょっと立ち止まって・文法への扉① 6月 ◎情報社会を生きる・情報を集めよう 7月 3 言葉に立ちどまる・詩の世界・比喻で広がる言葉の世界・言葉①
2学期	9月 4 心の動き・大人になれなかった弟たちに……・星の花が降る頃に・言葉② ・漢字② 10月 5 筋道を立てて・「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ・大阿蘇 11月 6 いにしへの心にふれる・いろは歌・蓬莱の玉の枝—『竹取物語』から・今に生きる言葉 12月 7 価値を見いだす・「不便」の価値を見つめ直す・文法への扉②
3学期	1月 8 自分を見つめる・少年の日の思い出 2月 ・文法への扉③・随筆二編・言葉③・漢字③ 3月 ・さくらの はなびら

3. 評価の観点(次の3つの観点で評価します。)

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のきまり(文法)等について理解する。 ・漢字・語句などの言語に関して適切に理解し、活用する。 ・文章内の表現技法について理解する。 ・書写の能力が優れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期や不定期に行われるテストにおいて、習熟度を評価する。 ・授業での課題に対する取り組みや、提出物を評価する。
②思考力、判断力、表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心部分をとらえ、要点を聞き取る。 ・自分の意見や考えが相手に的確に伝わるように話す。 ・文章や相手の考えを共有し、自分の考えを深める。 ・文章の表現や特徴に注意し、論理の展開に応じて内容を把握しながら読む。 ・物語の流れをきちんと理解し、登場人物の心情や行動原理について理解する。 ・自分の意見や考えが相手に的確に伝わる文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期や不定期に行われるテストにおいて、習熟度を評価する。 ・授業での課題に対する取り組みや、提出物を評価する。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、積極的に自分の意見をまとめ発表し、他者の意見を聞く。 ・ノートを確実にとり、課題に着実に取り組む。 ・ノートやワーク等の提出をしっかりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む態度、取り組む姿勢を評価する。 ・提出物を評価する。

4. その他(予習・復習、家庭学習の方法、力を入れてほしいこと、授業での約束等)

- ・自己評価を通して各自の習熟度を判断し、自ら見つけた課題を解決するための学習をする。
- ・学習意欲をもって授業に臨み、積極的に取り組む。

2年国語科シラバス

1. 西中学校2年生国語科目標

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成する。思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2. 年間学習予定(あくまで予定ですので、変更の可能性があります。)

	学習内容等
1学期	4月 1 広がる学びへ ・アイスプラネット ・枕草子 ・漢字① 5月 2 多様な視点から ・クマゼミ増加の原因を探る。 ・文法への扉① 6月 ◎情報社会を生きる ・メディアを比べよう・メディアの特徴を生かして情報を集める。 7月 3 言葉と向き合う ・短歌に楽しむ ・短歌を味わう ・言葉の力 ・言葉①
2学期	9月 4 人間のきずな ・盆土産・字のない葉書 ・言葉② ・漢字② 10月 5論理を捉えて ・モアイは語る—地球の未来 ・月夜の浜辺 11月 6 いにしへの心を訪ねる ・平家物語・扇の的—「平家物語」—から ・仁和寺にある法師—「徒然草」から— ・漢詩の風景 12月 7 価値を語る ・君は「最後の晚餐」を知っているか ・鑑賞文を書く ・文法への扉②
3学期	1月 8 表現を見つめる ・走れメロス 2月 ・文法への扉③ ・構成や展開を工夫して書こう 3月 ・言葉③ ・漢字③ ・木

3. 評価の観点(次の3つの観点で評価します。)

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の働きについて理解する。 ・言葉のきまり(文法)等について理解する。 ・漢字・語句などの言語に関して適切に理解し、活用する。 ・話し言葉、書き言葉を適切に使い分ける。 ・敬語の働きについて理解する。 ・書写の能力が優れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期や不定期に行われるテストにおいて、習熟度を評価する。 ・授業での課題に対する取り組みや、提出物を評価する。
②思考力、判断力、表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心部分をとらえ、要点を聞き取る。 ・自分の意見や考えが相手に的確に伝わるように話す。 ・文章や相手の考えを共有し、自分の考えを深める。 ・文章の表現や特徴に注意し、論理の展開に応じて内容を把握しながら読む。 ・物語の流れをきちんと理解し、登場人物の心情や行動原理について理解する。 ・自分の意見や考えが相手に的確に伝わる文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期や不定期に行われるテストにおいて、習熟度を評価する。 ・授業での課題に対する取り組みや、提出物を評価する。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中、積極的に自分の意見をまとめ発表し、他者の意見を聞く。 ・ノートを確実にとり、課題に着実に取り組む。 ・ノートやワーク等の提出をしっかりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む態度、取り組む姿勢を評価する。 ・提出物を評価する。

4. その他(予習・復習、家庭学習の方法、力を入れてほしいこと、授業での約束等)

- ・自己評価を通して各自の習熟度を判断し、自ら見つけた課題を解決するための学習をする。
- ・学習意欲をもって授業に臨み、積極的に取り組む。

3年国語科シラバス

1. 西中学校3年生国語科目標

国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成する。思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。

2. 年間学習予定(あくまで予定ですので、変更の可能性があります。)

	学習内容等
1学期	4月 1 深まる学びへ ・握手 ・学びて時にこれを習ふ ・漢字① 5月 2 視点を広げて ・作られた「物語」を越えて 6月 ・説得力のある構成を考えよう ・文法への扉① 7月 3 言葉とともに ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・言葉①
2学期	9月 4 状況の中で ・挨拶 ・故郷 10月 ・聞き上手になろう ・論理の展開を整える ・言葉② ・漢字② 11月 5 自らの考えを ・人工知能の未来 ・人間と人工知能と創造性 ・多角的に分析して書こう ・初恋 12月 6 いにしえの心を受け継ぐ ・古今和歌集 仮名序 ・君待つと一万葉 ・古今・新古今 ・夏草―「おくのほそ道」から ・古典を心の中に
3学期	1月 7 価値を生み出す ・誰かの代わりに ・漢字③ ・文法の扉② 2月 8 未来へ向かって ・温かいスープ ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう

3. 評価の観点(次の3つの観点で評価します。)

評価の観点	観点の内容	評価の方法
①知識及び技能	・言葉のきまり(文法)等について理解する。 ・漢字・語句などの言語に関して適切に理解し、活用する。 ・敬語について、相手や場に応じた言葉遣いができる。 ・書写の能力が優れている	・定期や不定期に行われるテストにおいて、習熟度を評価する。 ・授業での課題に対する取り組みや、提出物を評価する。
②思考力、判断力、表現力	・話の中心部分をとらえ、要点を聞き取る。 ・自分の意見や考えが相手に的確に伝わるように話す。 ・文章や相手の考えを共有し、自分の考えを深める。 ・文章の表現や特徴に注意し、論理の展開に応じて内容を把握しながら読む。 ・物語の流れをきちんと理解し、登場人物の心情や行動原理について理解する。 ・自分の意見や考えが相手に的確に伝わる文章を書く。	・定期や不定期に行われるテストにおいて、習熟度を評価する。 ・授業での課題に対する取り組みや、提出物を評価する。
③主体的に学習に取り組む態度	・授業中、積極的に自分の意見をまとめ発表し、他者の意見を聞く。 ・ノートを確実にとり、課題に着実に取り組む。 ・ノートやワーク等の提出をしっかりとする。	・授業に臨む態度、取り組む姿勢を評価する。 ・提出物を評価する。

4. その他(予習・復習、家庭学習の方法、力を入れてほしいこと、授業での約束等)

- ・自己評価を通して各自の習熟度を判断し、自ら見つけた課題を解決するための学習をする。
- ・学習意欲をもって授業に臨み、積極的に取り組む。

1年書写シラバス

○年間学習予定(あくまで予定ですので、変更の可能性があります。)

学期	学習内容等
1学期	1 学習のはじめに。(書写学習の目的を知る。小学校で学習したこと(筆使い・筆順・字形・文字の大きさ・配列が文字を整えて書く要素であることを確認する。) 2 楷書を書こう。(楷書の基本点画の始筆・送筆・終筆の筆使いを楷書のいろいろな書き方を確認する。毛筆の学習を生かして、硬筆で楷書を書く。)
2学期	3 楷書と氏名を調和させて書く。(平仮名の筆使いを理解する。平仮名は漢字よりやや小さく書くと調和することと平仮名の筆使いは、極端に丸みをつけないで漢字と調和させることを理解する。) 4 行書を知ろう。(行書の特徴、点画の「丸み・連続・省略」、「方向や形・筆順」の変化を知る。)
3学期	5 書きぞめ。(新年の気持ちを課題の語句にこめて書く。) 6 学習のまとめ。(楷書の筆使い・筆順・字形、楷書と仮名の調和、行書(丸み・方向や形の変化・連続・省略・筆順の変化)文字の大きさと配列・配置等の基本的事項を確かめる。)

2年書写シラバス

○年間学習予定(あくまで予定ですので、変更の可能性があります。)

学期	学習内容等 [番号 単元名(学習のポイント)]
1学期	1 行書の特徴を生かして書く。(楷書と行書を比較し、行書の特徴(点画・筆順・楷書より速く書ける)を理解して教材文字を書く。毛筆の学習を生かして教材文字を鉛筆で書き、日常化を図る。)
2学期	2 行書と仮名を調和させて書く。(行書に調和する平仮名の筆使いを理解する。硬筆に生かして書く。) 3 書きぞめ。(新年の気持ちを課題の語句にこめて書く。これまでの行書学習で身につけた基本的な筆使いを確認する。)
3学期	4 生活に生かす。(学校生活や日常生活で使われる用具や書体に興味を持ち、目的に応じて配列や配置を考えて読みやすく書く。)

3年書写シラバス

○年間学習予定(あくまで予定ですので、変更の可能性があります。)

学期	学習内容等
1学期	1 身の回りの文字を調べよう。(行書と仮名の調和や配列・配置(文字や行の中心。字間・行間のとり方、余白など)についての理解を深めて書く。)
2学期	2 身の回りの文字を調べよう。(身の回りの文字を集め、それらがどのような場面や目的で使われているかを考える。) 3 書きぞめ。(新年の気持ちを課題の語句にこめて書く。これまでの行書学習で身につけた力を発揮する。)
3学期	4 未来に向かって。(中学校3年間で学習したことを、楷書、楷書と仮名の調和、行書、行書と仮名の調和、配列・配置に分けて整理してまとめる。自分の好きな詩や好きな言葉 を用紙も選んで中学校で学習したことを生かして書く。)